



なのはなさくら



第9号

文責 加賀谷久志

【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

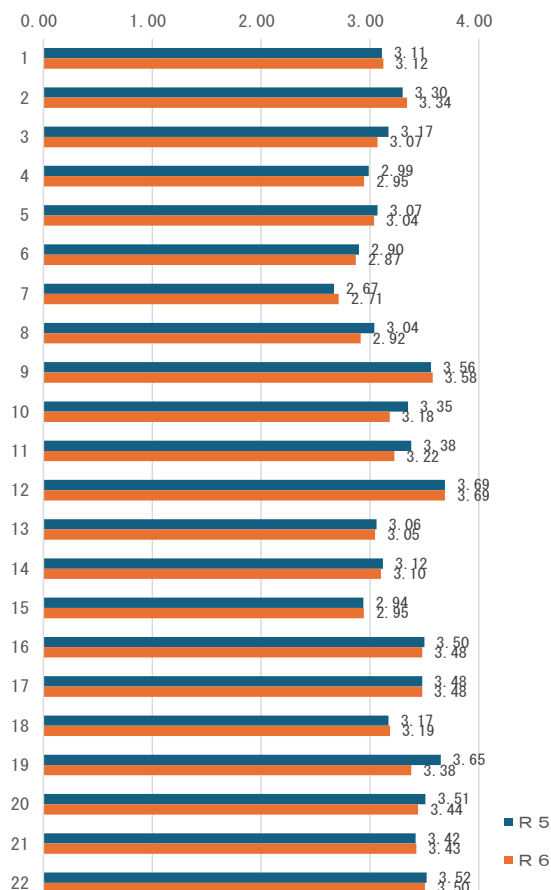
先日、保護者の皆様に本校の教育活動及び運営状況についてアンケートをお願いいたしました。お忙しい中、オンラインでの調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご回答いただいた内容は、本校の教育活動を振り返る上で貴重な資料となりました。今後も皆様のご期待に応えられるように、職員一同で努力していく所存です。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

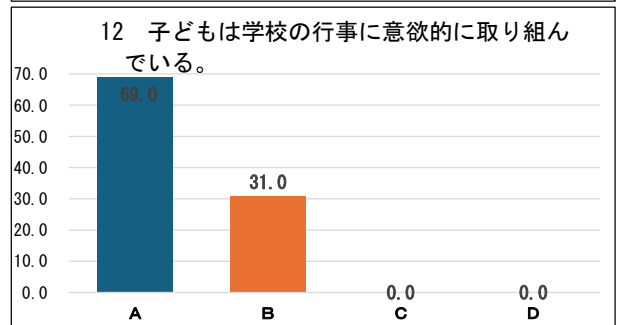
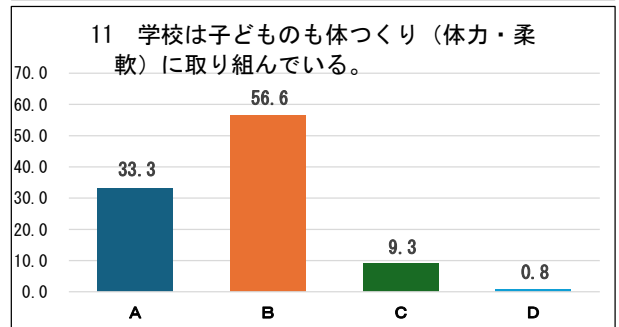
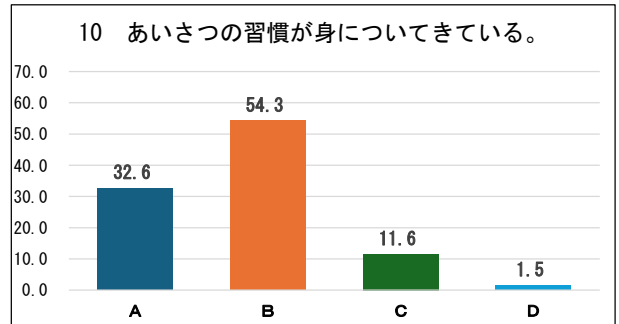
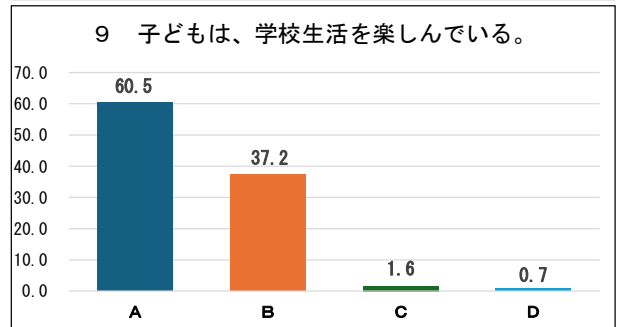
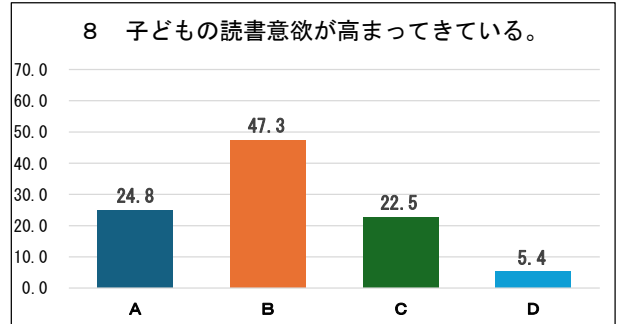
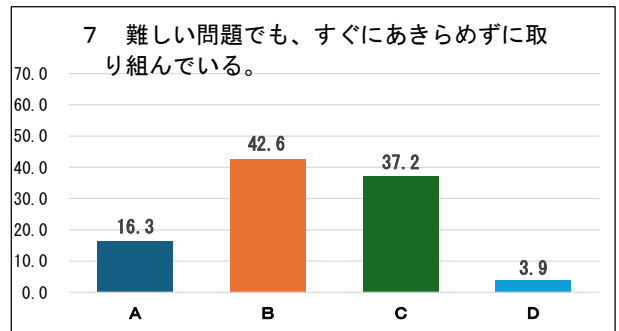
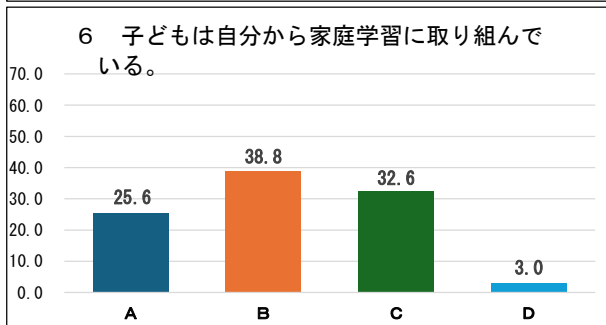
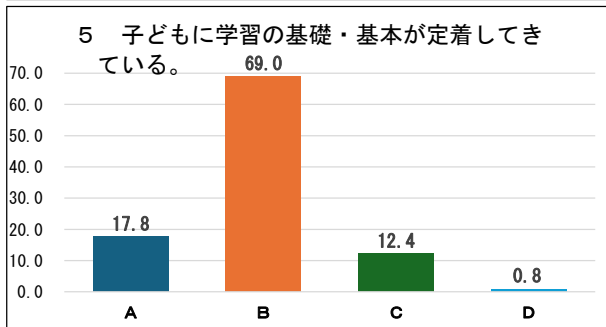
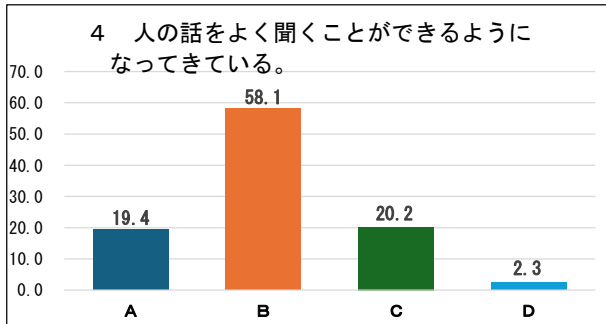
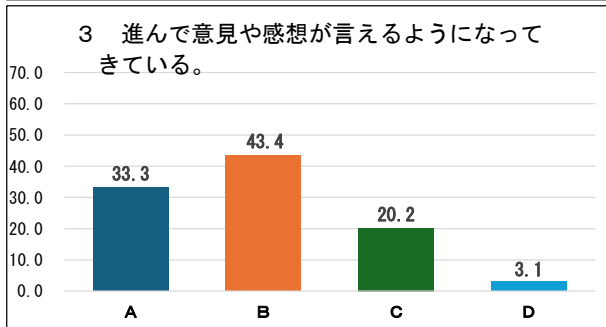
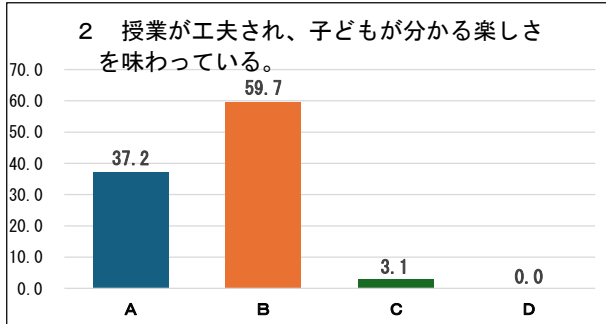
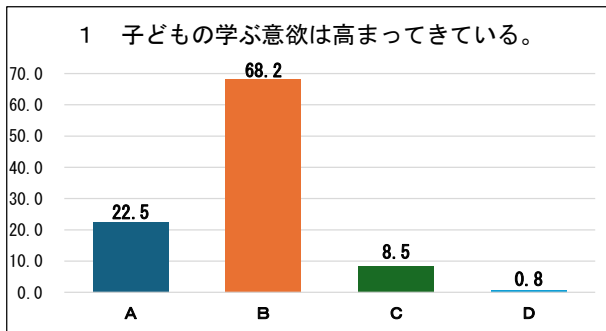
令和6年度のアンケート結果より

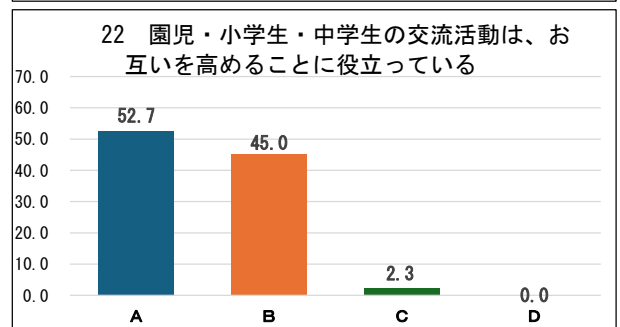
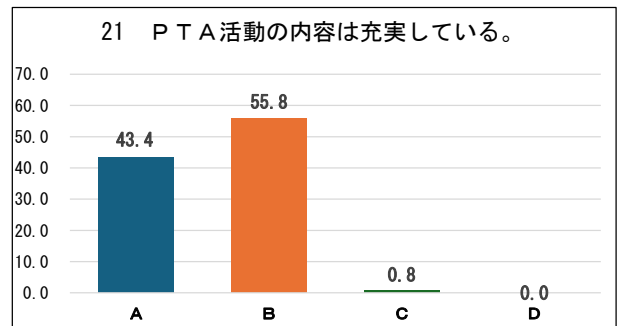
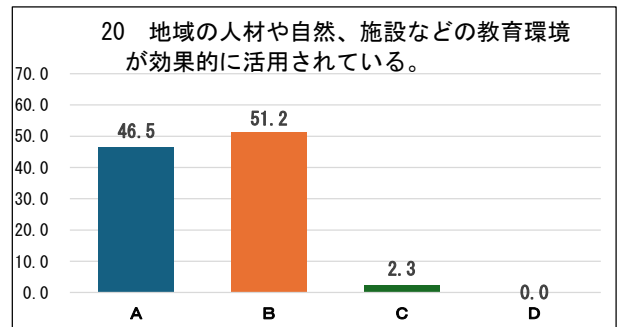
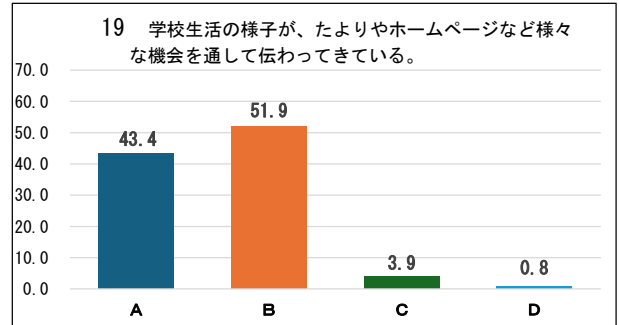
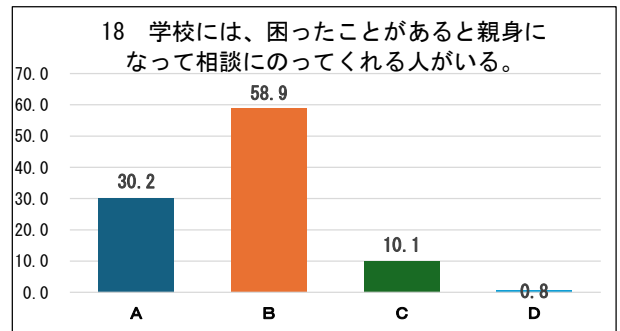
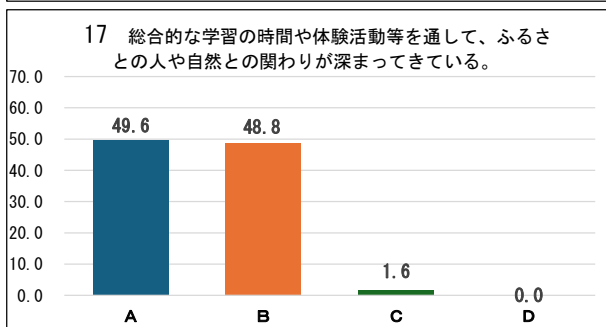
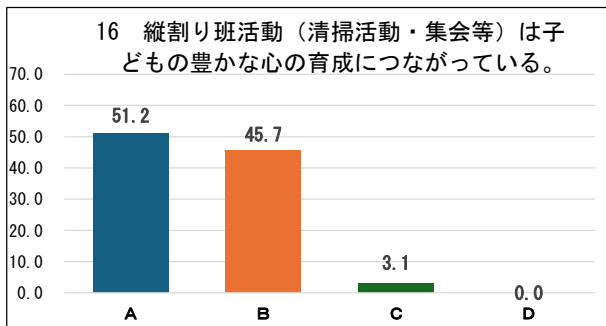
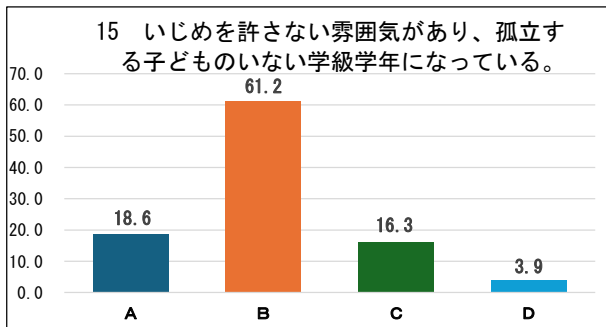
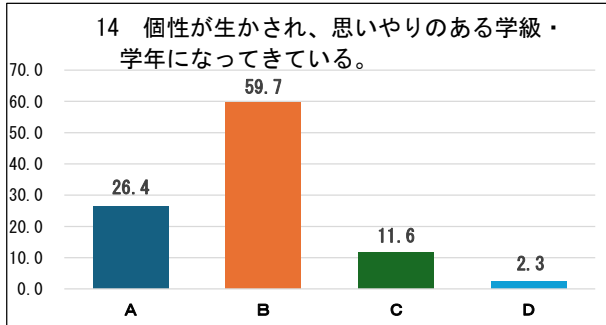
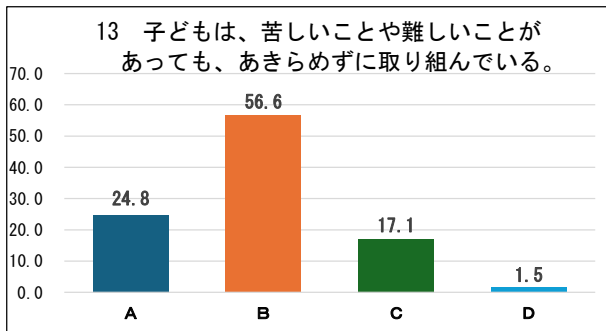
質問項目は昨年度と同じものです。「Aそう思う」を4点、「Bまあそう思う」を3点、「Cあまりそう思わない」を2点、「Dそう思わない」を1点として、全ての回答を数値化した結果が次の表及びグラフです。

個々の項目の結果（パーセンテージ）については、次項のグラフをご覧ください。

項目	R 5	R 6
1 学習意欲の高まり	3.11	3.12
2 授業が分かりやすい	3.30	3.34
3 意見や感想が言える	3.17	3.07
4 話を聞く	2.99	2.95
5 基礎・基本の定着	3.07	3.04
6 家庭学習	2.90	2.87
7 難問をあきらめない	2.67	2.71
8 読書の意欲	3.04	2.92
9 学校生活が楽しい	3.56	3.58
10 あいさつの習慣	3.35	3.18
11 体づくり	3.38	3.22
12 行事に意欲的	3.69	3.69
13 粘り強さ	3.06	3.05
14 思いやりのある学級	3.12	3.10
15 いじめを許さない	2.94	2.95
16 縦割り班活動	3.50	3.48
17 総合・ふるさと	3.48	3.48
18 相談する人	3.17	3.19
19 お便りやHP	3.65	3.38
20 教育環境の活用	3.51	3.44
21 P T A 活動	3.42	3.43
22 連携教育	3.52	3.50
平均	3.25	3.21







大潟村では、こども園・小学校・中学校の連携教育に力を入れています。そのため、アンケートの内容についても、大潟村連携教育で大切にしている「学び」「育ち」「心」の3つの柱を観点として項目を立てています。今回は初めてオンラインでのアンケートを実施しましたが、ほぼ100%の回答率となりました。改めて、保護者の皆様の学校教育への関心の高さを実感いたしました。アンケートの実施に際しましては、tetoruでの連絡内容に紛らわしい表現がございましたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

1. 主に「学び」に関する質問について
(質問項目 1～8)

昨年度に比べ2つの項目で伸びがありました。質問7の「難問をあきらめない」につきましては、本校の重点目標でもある「粘り強く頑張るたくましさの育成」につながるものです。

また、その土台として、安心して挑戦したり、試行錯誤したりすることができる学校や学級の雰囲気づくりも大切にしたいと考えます。

なお、昨年度よりも低くなった質問3「意見や感想が言える」及び質問4「話を聞く」につきましては、諸調査等においても、本校の子どもたちの課題となっている部分です。相手の話をよく聞いて内容を理解する力と、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力は表裏一体のもので、各教科等の学習活動及び読書活動の充実を図り、言語に係る能力の向上に努めて参りたいと思います。

2. 主に「育ち」に関する項目について
(質問項目 9～12)

質問9「学校生活が楽しい」について、わずかですが伸びがありました。本校では、子どもたちが明日も元気に学校に来なくなる、魅力ある学校づくりを目指しています。そのため、子どもが学校で最も多くの時間を過ごす授業の在り方について改善に努めてきました。今後も子ども「分かった」「できた」を支えることができるような授業づくりを進めて参ります。

なお、質問10「あいさつの習慣」は、数値を下げました。本校の課題と捉えている「よりよい人間関係づくり」に向けて、コミュニケーションの第一歩であるあいさつの指導を継続したいと思います。

3. 主に「心」に関する項目について
(質問項目 13～18)

この項目については、概ね昨年度と同様の結果となりましたが、質問15「いじめを許さない」についてC及びDの回答が約20%と低い評価となっています。日常の授業づくりや学級づくりを通じた共感的な人間関係づくりを推進するなど、いじめ等の未然防止に向けた活動に取り組めます。

併せて、「いじめ見逃しゼロ」を目指し、生活アンケート等の活用を図りたいと思います。

また、90%以上の方から肯定的に回答していただいた「縦割り活動」などの特別活動の視点からも、互いの立場や考えを尊重し、相手を思いやる心を育みたいと思います。

4. 「連携等」について
(質問項目 19～22)

3つの項目で、昨年度よりも低い評価となりました。中でも、質問19の「お便りやHP」の項目について数値が低くなっています。自由記述欄でご指摘いただいたように、今年度から導入されましたtetoruの機能も生かしながら、適時性のある情報提供に努めたいと思います。

また、地域の人的・物的な教育資源の活用および他校との交流などが今後の課題であることについて認識いたしました。

なお、学年度末に行われるPTAの役員決め及び学年部の組織について提言をいただいております。他地区と比べ緩やかではありますが、今後も少子化が続くことを見据えた貴重なご意見であると思います。今後、PTA役員とも相談しながら進めていきたいと思ひます。

5. 記述欄から
たくさんのご意見やご要望、ご提言をいただき、ありがとうございます。主なものを一部を抜粋し紹介させていただきます。

(1) 学習について

- ・学習する環境に恵まれている
- ・話す、聞くの指導
- ・ICTを活用した学習指導の在り方
- ・全校漢字・計算テストの負担が大きい
- ・家庭学習への取り組みせ方

基礎的な学習内容をどのようにして定着させるのかということについては、一人一人の特性もあり難しい部分です。そのための手立てとして、ICTの活用、全校テストなどに取り組んで参りました。今後も知識及び技能の確実な定着につながる手立てについて模索するとともに、子どもの学びやすさに応じた学習の在り方について研究を進めたいと思ひます。

家庭学習について、学校では「学習内容の定着」と「学習習慣の定着」の2つを目的として指導しています。今後も、子どもに力を付けるためにはどのような家庭学習の仕方がよいのかという視点を大切にして、保護者の皆様のご協力もいただきながら取り組んでいきたいと思ひます。

(2) 生活（安全）について

- ・縦割り班活動がよい
- ・言葉遣いが悪い
- ・人間関係のトラブルがある
- ・自転車の乗り方が危ない
- ・1年生の集団登校の在り方

いじめ防止は学校としての重要課題です。道徳や特別活動での学びを通して、思いやりの心を醸成するとともに、多様な他者に対する理解の促進を図ります。

また、いじめは相手の人権を侵害する決して許されない行為であること、継続の如何等にかかわらず相手に心身の苦痛を与える行為自体がいじめであることについて、繰り返し指導していきたく思ひます。

併せて、いじめは大人が気付きにくい形で行われることを常に意識し、保護者の皆様の目もお借りしながら、早期発見・早期対応に努めたいと思ひます。

(3) 学習・生活（安全）以外について

- ・PTAの役員決め、学年部組織
- ・学校からの情報発信の仕方
- ・なべっこ等の学校行事
- ・学校間交流（海外交流）
- ・学校評価の活用
- ・個人持ち教材の備品化
- ・教職員の望ましくない言動
- ・スポーツ少年団の開始時刻等

いただいた全てのご意見等について、学校の各担当と検討したいと思ひます。また、学校だけでは対応が困難なものにつきましては、学校運営協議会等の際にも話題にさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

職員個人に対するご指摘につきましては、管理職が対応いたします。

なお、スポーツ少年団につきましては、学校の組織ではないため、各団体に直接お問い合わせいただきたく思ひます。